

## 公開講座

# 「私の困ったは みんなの困った」

～ お寺でできること ～

ジェンダー問題について語り合ってみませんか。

2022年5月10日(火)

13:30～16:30

三重教務所 3階講堂

講師 岡 久美子 先生

<プロフィール> \*同朋大学大学院人間福祉学科卒  
\* シニアライフ研究所 りあもでんな代表 ほか

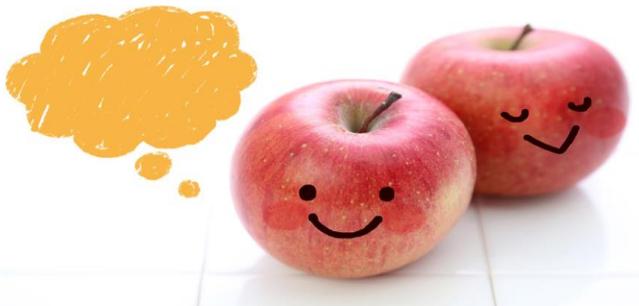
\* 参加費無料の公開講座です。

\* 新型コロナの感染症対策のため、会場・オンラインの両方で行います。

\*\*先生の講義とブレイクアウトセッション（少人数に分かれて話し合い）  
を行います。

参加ご希望の方は、三重教区・桑名別院ホームページ <https://mie-betsuin.com/>  
または、下記 QR コードから、お申込みください。

※申し込み〆切：4月30日（土） 申し込みはこちらから



あなたが日常の中で困っていることを、仕方がないとあきらめてしまっていないですか？

自分の悩みや疑問を、誰かに聞いてもらいたいと思いませんか？

安心しておしゃべりできる場所や仲間が欲しいと思いませんか？

「お問い合わせ」

真宗大谷派

三重教区教化委員会

(社会教化小委員会)

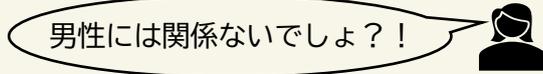
Tel (0594)21-8000

[mie@higashihonganji.or.jp](mailto:mie@higashihonganji.or.jp)

～ 開催にあたって ～ ジェンダー問題って何だろう？



女性の問題かな？



男性には関係ないでしょ？！

と思われる方もあるかもしれません。でも・・・、



性別は誰にでもあるので全員の問題です！！

本来、体の性である生物学的な「性別」は多様で、十人十色といってもいいほどだ  
そうです。一方、ジェンダーとは社会的につくられた「性差」で、男女二つに分け  
られます。例えば、住職らしい人は男性、坊主らしい人は女性などなど。

**ポイント**☞ 体の性別に基づいてジェンダーがあるのではなく、「社会の仕組  
み(=ジェンダー)」が男女二つに分かれていることによって、体  
の性別も二つに分かれているかのように見えています。そうし  
た思い込みや意識から、その社会の枠組にあてはまらない場合、  
様々な差別をうけることがあります。

そこで今回の学習会では、普段の何気ない毎日、仕事や子育て、介護、医療、お寺、  
様々な場面で、私たち自身が困ったと感じていることを語り合いたいと思います。  
講師から出されるクイズやお題を一緒に考え、楽しく話を聞き合う中で、「意識と仕  
組みの両方から変革」する方途を一緒に学んでいければと思います。「男女平等、公  
平・公正な社会」を親鸞聖人の教えに基づき「同朋和敬」を心の拠り所に、いろ  
んな立場からお寺や自分たちに「できること」を一緒に考えてみませんか。

ジェンダーとは・・・「社会的・文化的・歴史的に形づくられた性差」

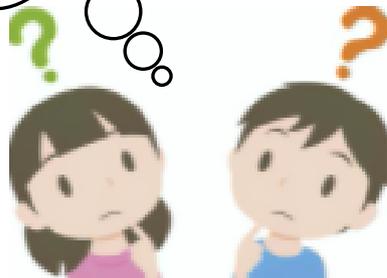
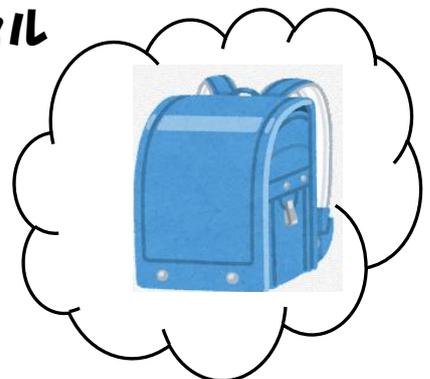
社会から期待される「男らしさ」「女らしさ」

世の中での役割や仕事の違いによって見なされる性別です



わたしのランドセル

どっち？！



女の子はピンク

男の子はブルー

そんなふう決めつけていませんか？